

協議・情報交換
「生徒を中心とした学びに
向かう集団づくりの実際」

平成31年2月19日(火)
中津教育事務所

【情報交換】 9:45~10:40頃 ⇒ 1校10分程度

第1回(8/31)以降に取り組んだ「生徒会活動を中心とした学びに向かう集団作りに取り組んでいる事例」の紹介(5分程度)及び質疑・協議(5分程度)

【協議の際の視点】

「生徒会(あるいは生徒)を中心とした『学びに向かう学校』づくりを進めるためには、どのような取組が効果的か？」

協議・情報交換

「生徒による授業評価の
活用等について」

【趣旨説明等】 10:50~11:10頃

- 趣旨説明
- 持ち寄った「アンケート調査用紙」の項目について「修正」や「追加した方がよい」項目などの検討。
- 生徒の学習(授業)目標あるいは重点目標・学カプラン・校内研修等の内容を踏まえた項目へ

【協議】 11:10頃~11:50 ⇒各校7分程度

- 持ち寄った「アンケート調査用紙」と「検討した項目」についての説明。(4分程度)
- 「検討された項目」についての質疑及び協議。(3分程度)

事務所管内中学校の学習(授業)目標の事例

1:まったくあてはまらない

7月
12月

2年1組 めざす授業

- 授業に積極的に取り組み、
- 仲間の意見を尊重します。
- 班活動では、自信を持って自分の考えを表現します。

これから新たに見つかった授業中の私語を0に
という目標に向けてクラス全体で向き合おう

学力向上に向けた取組状況調査結果から

「学力向上に向けた取組状況調査」 (平成30年12月 県調査結果)	3市	大分県
学校が目指す授業像を 生徒と共有し、それに向 かう学習集団としての目 標を学級に掲げている学 級数	90.9 %	84.4 %
学習集団としての目標を 適宜振り返り活動を行っ た学級数	85.8 %	82.6 %

「生徒による授業評価」の観点について

- ① 授業者に対して
- ② 生徒自身に対して
- ③ 学習集団に対して

※ 多くの場合は、この3つを組み合わせて、関連付けながら評価している。

※ アンケート調査項目は、若干の文言修正等以外は毎年不変？

「生徒による授業評価」項目の課題

- 診断か改善か、目的設定があいまい。
(何のためにするのか)

【参考】 診断目的＝長所や課題を発見(網羅的・全方位的)
改善目的＝長所を伸ばし課題を解決(重点的・限定的)

- 職員の参画意識、当事者意識が低い。
(授業評価は、生徒が自身の評価をするだけではない)
- 学校の取組(授業に関するもの)と評価活動の乖離。
(関連・連動している?)
- 調査項目があいまい。
(ぼやけた項目、複数の要素がある)

等

有効活用をするためには？

- 教師・生徒それぞれの取組の状況が把握できる項目を設定し、効果を判断。
(目標に対応、焦点化、細分化、何のための調査か共有、取組意識の高揚 等)
- 調査結果を生徒にも提示し、成果や課題を共有。
(取組の成果の見える化、達成感などへも繋げる。)
- 結果をもとに教師・生徒で方向性を共有し、学びに向かう学校づくりを進める。
(それぞれの視点から、学習集団づくりを進める。) 等

有効活用をするためには？

(例) 学力向上プランを踏まえた評価項目

学力向上プラン (取組指標)

- ・生徒が主体的に取り組むことができる追究したい「課題」を、生徒の思考の流れに沿って設定する。

授業評価項目

・

(例) 生徒の学習(授業)目標を踏まえた評価項目

生徒の学習(授業)目標 (学校の教育目標等と連動したもの)

- ・班活動では、自信を持って自分の考えを表現できるようになる。

授業評価項目

・

【本協議会の受講者の感想等】

●第1セッション「生徒を中心とした学びに向かう集団づくりの実際」

○各中学校の取組を聞いて自校の改善につなげられそうなアイデアをもらえた。それを次年度に生かせるように教員間で話し合いと準備を行いたい。

○レーダーチャート等「見える化」して、生徒の結果を生徒自身が振り返り、課題意識を持つようにしていた。廊下などに取組の結果を掲示するなど「見える化」の工夫を本校でも行っていきたい。

○生徒を中心にした活動がそれぞれの学校でしっかり行われている状況がわかった。自校での取組や仕組みなどを見直すなどの動機付けとなった。

●第2セッション「生徒による授業評価の活用等について」

○集計やデータを読み取り活用すること等の大変さを改めて感じた。しかし、授業改善には必ず必要になってくるので、次年度以降に活かしていきたい。

○調査項目を、校内研究の内容や目標とリンクした生徒の学習目標と照らし合わせたとき、曖昧な内容があることに気付いた。目的(診断か改善か)も明確にすることも大切だと思った。

○他校の調査項目を見る機会があまりないので自校との比較や検討ができてよかった。